

# 令和5年度 第1回 吉沢市民センター 運営審議会

日 時 令和5年6月29日(木)  
午前10時～

場 所 水戸市吉沢市民センター

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

- (1)令和4年度吉沢市民センター事業実施状況について
- (2)令和4年度吉沢市民センター利用状況について
- (3)令和5年度吉沢市民センター運営方針及び重点目標について
- (4)令和5年度吉沢市民センター事業計画並びに関連事業について
- (5)その他

4 閉 会

水戸市吉沢市民センター

水戸市吉沢市民センター  
運 営 審 議 委 員

任 期 2022年4月 1日から  
2024年3月31日まで

(順不同・敬称略)

番号	氏 名	役 職
1	新津 盛司	吉沢地区自治連合会
2	西村 三絵子	吉沢地区体育協会
3	松本 由紀恵	保健推進員
4	菊池 ウメ子	吉沢女性会
5	青木 春生	施設利用者代表
6	平原 満	吉沢小学校校長

(1)令和4年度吉沢市民センター事業実施状況について

定期講座(クラブ)

クラブ名	開催日		時間	講師	人数	回数
卓球	第1・3	月	13:30~15:30	自主活動	27	24
卓友会	第2・4	月	9:00~12:00	自主活動	28	24
着付	第1・3	月	10:00~12:00	小室陽子	9	9
絵手紙	第1・3	火	10:00~12:00	鯨和子	8	16
絵画	第1・3	火	13:30~15:30	自主活動	9	17
ヨガⅠ	第1・3	水	10:00~12:00	江橋京子	30	21
ヨガⅡ	第2・4	水	10:00~12:00	片岡友加	30	21
ターゲット パートゴルフ	毎週	水	10:00~12:00	自主活動	9	31
書道	第1・3	木	10:00~12:00	郡司博風	6	24
楽しい童謡	第2・4	木	10:00~12:00	飛田淳子 増淵亜依	30	19
茶道	第1・3	金	10:00~12:00	伊藤宗恵	7	18
籐工芸	第1・3	金	10:00~12:00	茅根啓子	8	21
パン作り	第4	金	9:30~13:00	鈴木三智	13	9
囲碁	第2	土	10:00~16:00	自主活動	21	12

一般教養講座

寿大学教養セミナー

回数	開催期日	内容	講師	人数
4回	6月17日	講話 「マイナンバー制度について」	水戸市 デジタル イノベーション課	25
	7月1日	講話 「はじめてのスマホ体験講座」	スマートフォン アドバイザー	18
	10月18日	「magicショー」	高野 邦夫	24
	12月7日	移動学習 水戸市植物公園 茨城県陶芸美術館		22

女性教養セミナー

回数	開催期日	内容	講師	人数
3回	7月15日	移動学習 水戸市清掃工場えこみっと いばらきフラワーパーク		28
	11月29日	エコクラフトの小物づくり	吉沢女性会	13
	2月3日	みそ作り教室	長山 勝紀 名澤 久子	16

ワイワイ学園

回数	開催期日	内容	講師	人数
2回	7月22日	子ども書道教室	平賀 礼子	19
	8月2・3日	子ども絵画教室	菅原 和子	30

家庭教育強化事業

回数	開催期日	内容	講師	人数
3回	6月30日	ハッピーマッサージ・手遊び	加藤 一枝	15
	10月21日	「ハッピーハロウィン！」 工作・親子ふれあい遊び	加藤 一枝 川澄 直子	15
	11月18日	講話 「子育て講座」	内原認定こども園 職員	15

### 家庭教育支援事業

回数	開催期日	内容	講師	人数
1回	9月29日	ベビーマッサージ・手遊び	加藤 一枝	15

### 成人教育

回数	開催期日	内容	講師	人数
1回	2月2日	米粉料理教室	鈴木 三智	16

### 悠悠サロンフェスティバル

回数	開催期間	内容	講師	人数
1回	2月25・26日	定期講座作品展, magicショー 模擬店・即売会 三世代の広場(小物作り) 血管年齢測定	高野 邦夫 保健推進員	400

### 東部ブロック好文塾

3回	11月10日	「睡眠と健康の知恵袋」	明治安田生命 FPコンサルタント	22
	11月17日	「レインボー健康体操」	健康運動指導士 磯崎 幹子	20
	12月5日	「食のとっても大切なお話」	クッキングスクールネモ 根本 悦子	21

〈参考〉 吉沢地区の主な事業

- |                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| ・体協ソフトボール大会         | 5月29日(日)元石川市民運動場<br>6チーム参加    |
| ・お父さんソフトボール大会       | 7月10日(日)元石川市民運動場<br>7チーム参加    |
| ・学区対抗お父さんソフトボール大会   | 9月10日(土)11日(日)<br>市総合運動公園軟式球場 |
| ・敬老会記念品配布           | 9月19日(月)<br>496名配達            |
| ・吉沢地区市民運動会          | 10月9日(日)吉沢小学校<br>1200名        |
| ・福寿のつどい             | 10月19日(月)<br>41名              |
| ・東部ブロック親善球技大会       | 10月23日(日)元石川市民運動場             |
| ・吉沢地区市民歩く会          | 11月6日(日)笠原水道・逆川緑地<br>35名      |
| ・東部ブロックゴルフ大会        | 11月9日(水)勝田ゴルフ倶楽部              |
| ・吉沢地区クリーン作戦         | 11月20日(日)吉沢地区<br>100名         |
| ・独り暮らし高齢者クリスマスプレゼント | 12月22日(木)<br>125名             |
| ・三世代交流会(卓球)         | 1月7日(日)吉沢市民センター<br>41名        |
| ・新春水戸郷土かるた大会        | 1月15日(日)吉沢市民センター              |
| ・水戸郷土かるた大会中央大会      | 2月18日(土)市総合運動公園体育館            |

(2)令和4年度吉沢市民センター利用状況について

月	市民センター		社 教 団 体		市		県		一 般		計	
	回数	人 数	回数	人 数	回数	人 数	回数	人 数	回数	人 数	回数	人 数
4	10	162	3	34	5	75	0	0	48	439	66	710
5	19	261	6	116	6	211	0	0	50	459	81	1,047
6	20	309	5	117	23	611	0	0	47	389	95	1,426
7	21	287	4	117	17	343	0	0	49	430	91	1,177
8	9	132	2	27	4	61	0	0	34	298	49	518
9	23	326	3	52	17	401	0	0	52	413	95	1,192
10	26	346	4	46	13	297	0	0	56	461	99	1,150
11	23	329	3	43	10	203	0	0	53	413	89	988
12	21	266	2	38	10	157	0	0	44	346	77	807
1	19	233	6	101	7	121	0	0	47	413	79	868
2	29	707	5	70	7	129	0	0	44	367	85	1,273
3	21	287	11	165	14	207	0	0	53	453	99	1,112
計	241	3,645	54	926	133	2,816	0	0	577	4,881	1,005	12,268

### (3) 令和5年度吉沢市民センター運営方針及び重点目標について

#### 令和5年度水戸市吉沢市民センター運営方針及び重点目標

##### 運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

吉沢市民センターにおいては、感染症対策と地域活動の再開を図りながら、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

##### 重 点 目 標

#### 1 地域コミュニティ活動の推進

##### (1) 地域コミュニティ活動の活性化

- ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。
- イ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働による「みと町内会自治会カード」事業の更なる魅力の向上に努める。
- ウ よしざわ祭りや市民運動会をはじめ、吉沢地区の特色ある行事等の活性化に努める。
- エ 吉沢市民センターの役割を明確にし、市民センター運営審議会や各種団体との連携強化に努める。

##### (2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

##### (3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。



## 2 生涯学習活動の推進

### (1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

#### ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

- ・家庭教育強化事業の開催  
少子化に向けた活動を展開し、安心して子育てができる環境づくりの事業を行う。
- ・寿大学教養セミナーの開催  
高齢化社会における事業を支援し、バランスの取れた活発な事業を展開する。
- ・三世代交流(お茶会・小物作り)  
地区内の子どもから高齢者まで三世代が集い交流できる事業の推進を図る。
- ・女性教養セミナー等の開催  
地区会や女性会及び関係機関と連携しながら、交流事業を推進する。

#### イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたICTリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

#### ウ 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

### (2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

#### ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

#### イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

#### ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

#### エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

### (3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

#### ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、子どもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

#### イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(4) 令和5年度吉沢市民センター事業計画並びに関連事業について

月	定期講座	主催事業	自治連合会事業
4	開設準備 卓球・卓友会・着付・絵手紙・絵画 ヨーガⅠ・ヨーガⅡ・楽しい童謡 書道・茶道・藤工芸・パンづくり 囲碁・ターゲットバードゴルフ		
5			
6		第1回市民センター運営審議会 寿大学・女性教養セミナー合同事業 1回 家庭教育強化事業 1回 成人教養セミナー 1回	よしざわ祭り三役会議 よしざわ祭り役員会
7		ワイワイ学園「子ども書道教室」 1回	よしざわ祭り実行委員会 お父さんソフトボール大会 ママさんバレーボール大会
8		ワイワイ学園「子ども絵画教室」 2回	よしざわ祭り専門部会 第31回よしざわ祭り
9		寿大学教養セミナー 2回 女性教養セミナー(移動学習) 1回	学区対抗お父さんソフトボール大会 市民運動会実行委員会 市民運動会責任者会議
10		家庭教育強化事業 1回	市民運動会 市民歩く会
11		家庭教育強化事業 1回 女性教養セミナー 1回 寿大学教養セミナー(移動学習) 1回	学区対抗ママさんバレーボール大会 ごみ減量推進事業
12		女性教養セミナー 1回	
1		悠悠サロンフェスティバル代表者会議	新春郷土かるた大会
2		女性教養セミナー 1回 悠悠サロンフェスティバル 「発表会・作品展・三世代のひろば・模擬店・即売会」 第2回市民センター運営審議会	
3			先進都市視察研修旅行

## 令和5年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標

## 運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、感染症対策と地域活動の再開を図りながら、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

## 重 点 目 標

## 1 地域コミュニティ活動の推進

## (1) 地域コミュニティ活動の活性化

- ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。
- イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。
- ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。
- エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

## (2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化型改修の実施及び施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

## (3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

## 2 生涯学習活動の推進

### (1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

#### ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

#### イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたICTリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

#### ウ 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

### (2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

#### ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

#### イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発

表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

**(3) 家庭・地域・学校の連携の強化**

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、子どもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。